

近畿高校選手権 兵庫から女子 初出場へ

全国目指し 男子と鍛錬

レスリング 須磨翔風2年の田中

レスリングの近畿高校選手権（20日開幕・奈良県橿原市総合体育館）に、兵庫から初めて女子選手が出場する。競技を始めてまだ2年目の田中英美香（須磨翔風2年）。世界で強さを発揮する日本女子だが選手人口はまだ少なく、田中も最初の1年間は県内唯一の女子高校生レスラーとして男子と腕を磨いてきた。自身2度目の公式戦に、全国大会初出場を懸ける。（伊丹昭史）



近畿高校選手権に向け、練習に励む須磨翔風の田中（左）＝神戸市須磨区の同校

神戸市立長田中では柔道にのめり込んだが、進学した須磨翔風に柔道部はなし。周囲の勧めもあって入学直後、同じ格闘技で強豪のレスリング部を見学に訪れた。

兵庫はかつて元世界女王の坂本涼子（芦屋学園コーチ、旧赤塚山高出身）らを輩出したが、見学当時、県内の高校に女子選手はゼロ。女子部員がいると思っていた田中は「びっくりした」。中谷高志監督の「楽しくなければ辞めてもいい」との言葉で体験入部から始めた。

練習での男子との接触は「柔道でも一緒に練習していて嫌ではなかった」と打ち明ける。不安は主に体力面。実際、体力差や大好きな柔道との違いなどで「何回も辞めたいと思った」が、先輩たちが不安な思いを「怒らず聞いてくれて頑張ろうと思えた」。技を覚え

る楽しみも知る。今春、後輩女子が1人入って「しつかりせな」と吹っ切れたという。

近畿選手権の女子は創設2年目で、優勝者は8月の全国大会に出場する。田中は昨年は左肩のけがなどもあり出場せず、唯一出た別の大会は初戦で男子に敗れて公式戦は未勝利だ。今回出場する女子60kg級は3選手のリリーグ戦。「経験は田中が一番浅いと思う」と中谷監督は苦戦も予想する。

男子60kg級で全国総体にも出場する一ノ本未来主将（3年）は「最初は（練習での）力加減が分からなかったけど今は慣れた。コツコツ頑張っている。勝ってほしい」とエール。田中も「不安もあるけど出るからには全力で頑張る」と意気込んでいる。